



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

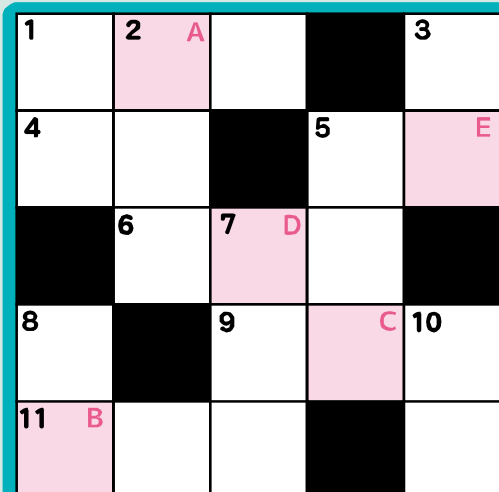
全国相談窓口 ☎0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。9月になりましたが、この時期は雨の日が多いですね。秋の長雨とよく言いますが、秋雨前線による雨に加え、9月中旬から10月上旬にかけては台風も接近しやすくなるため雨の日が増えます。秋の長雨は、秋霖やススキ梅雨という、なんとも味のある呼び方も。このように日本には雨の呼び方がいろいろありますが、一体いくつくらいあるのでしょうか？ ちょっと調べてみますと、なんと！その数は400以上。想像を遥かに超えた数でしたね。日本の降水量は世界平均の2倍以上で、古くから稲作を主とした生活の中では雨との関係は切っても切れない特別なものでした。雨の細かい違いを敏感に感じ取った、様々な雨の呼び方があるのも納得です。シトシトと降る雨、ザーッと強く降る雨、雨雲がないのに降る雨。同じ降り方でも違う呼び名があったり、季節によって呼び方を変えたり、日本では情緒豊かな言葉がたくさん生まれてきました。雨の量を表す言葉を見てみると、弱い雨は小雨、小糠雨などがあります。小糠雨は春に降るとても弱く細かく降る雨のことで、秋に降るものは霧雨と言います。涙雨は、悲しみの涙が雨に変わったかのようなほんの少し降る雨、なんていう心に響く言葉もあります。一方、強い雨では大雨、豪雨、鉄砲雨など。最近ではゲリラ豪雨という言葉も定着し、天気予報では頻繁に聞かれるようになりました。また、降り方の違いでは、通り雨、小降りだけどいつまでも止まらずに降る漫ろ雨。季節で分けてみると、桜の咲く頃に咲く華雨、陰暦の5月頃（現在の梅雨頃）に長く降る五月雨、夏の午後に降る夕立、秋に雨粒が大きく激しく降る白驟雨などがあります。さらに、色にまつわる呼び名もありますよ。例えば、青々とした新緑の季節に降る緑雨、空を真っ黒にするような大雨の黒雨など。雨の日は気持ちが沈みがちですが、今日の雨を表す言葉は何かな？など、思いを巡らせてみると楽しみが増えるかもしれませんね。雨が多ければ虹に出会うチャンスも多くなります。雨上がりは、ぜひ空を見上げてみてください。

ふれディア通信編集部

脳がツキツキ! 健康クロスワード



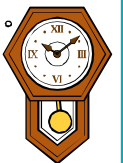
解答は別ページに載っています。

第二の心臓とも呼ばれている体のパーツはどこでしょう？

A～Eをつなげた言葉が答えです。

タテのカギ

1. 教育、勤労、納税。国民の三大〇〇。
2. 〇〇〇時計にはガリレオの発見が応用されています。
3. 「萩」に似た漢字を書く、秋の七草の一つ。
5. 百円玉の表に咲いている花といえば？
7. 昔は官製。今は郵便。旅の出発はポストから。
8. 人形にしたり、刺身に添えたり…。使い方は多種多様。
10. 〇〇⇔嫌い。



ヨコのカギ

1. 贈り物や、才能を意味することも。
4. むちゃくちゃな注文。〇〇難題。
5. 白〇〇のように美しい漆喰が特徴の姫路城。
6. 天然樹脂の化石で出来た宝石といえば？
9. シンデレラは〇〇〇の靴で舞踏会に行きました。
11. 察する能力が高ければ読めると言われています。

